

## 第 17 回政策調整会議結果報告

1 日 時 平成 21 年 12 月 11 日 (金) 13:00 ~ 16:00

2 場 所 役場 2 階 審議室

3 出席者

《構成員》田浦副町長、服部総務課長、岡崎保健福祉課長、伊藤産業振興課長、北向建設水道課長、田中町民生活課長、前田教育振興課長

《説明員》菊地公園整備担当課長、佐藤主査

《庶務》石田主幹、新井主任

合 計 11 名

1 事務事業評価（事前評価）について

日の出公園整備事業

[担当から資料により説明]

・ラベンダー等の植栽及び各施設の塗装補修を H 21 に引き続き実施する。また、H 27 からバンガロウ（5 棟）を新築する。

[協議意見]

・日の出公園は、当町のシンボルであり、これからもそれは変わらないと考えるが、日の出公園への投資については多様な意見（都市公園としての整備か、観光公園としての整備かなど）も聞くところであり、そのような意見を含めた中で整備計画を整理していく必要がある。

・上富良野町の商工観光の発展に寄与するように、関係機関・団体とも協議し、整備を進めていく必要がある。

・日の出公園が、より集客力を強めることで、町全体の観光客増加が見込まれる。

・バンガロウ新築については収益をあげられるものであり、整備する価値がある。

[総括]

・日の出公園は、都市公園であるとともに、ラベンダー発祥の地として内外に P R する当町のシンボリック公園として、整備を行う。

・痛みの激しいラベンダーを中心に植栽整備を関係機関・団体と調整して、早急に実施することとする。

・その他については中長期の計画の中で、実施計画策定時に具体的実施事業を再度確認しながら進めていくこととする。

・必要性 A、緊急性 A、効率性 B、公平性 A、評価 A

・島津公園整備事業

[担当から資料により説明]

・「未来に羽ばたく子どもたちと高齢者が集う公園」を基本コンセプトに、H22 から整備を行う。

[協議意見]

- ・あくまでも子ども等が遊ぶ公園であり、野外炉の必要性はない。
- ・噴水については、他の施設にもあることから、必要性は低い。

[総括]

- ・維持修繕を除いては、H22を大型整備の終期とする。
- ・野外炉の設置は行わない。
- ・シェルター設置については、より安価で、同じ用途をはたせる物がある。廃止も含めて再検討するため、実施計画には盛り込まないこととする。
- ・噴水は修理を行わずに、花壇への再生など、撤去も含めて検討すること。
- ・全体的に事業費が過大であるため、事業費の精査を行ったうえで、H22予算協議で整理すること。
- ・必要性A、緊急性B、効率性B、公平性B、評価B

## 2. その他

### 予算入力状況について

[庶務から資料により説明]

- ・予算編成会議時よりも予算入力現在では、投資的事業は約50,000千円増の394,001千円、義務的経費等は約25,000千円増の3,469,505千円になり、政策調整枠として確保可能額が約65,000千円減の12,137千円になっている。
- ・一般財源は、約8,700千円増の4,456,706千円となっている。
- ・防衛省 特定防衛施設周辺整備調整交付金対象要望事業として、7事業 事業費106,550千円、事業費の内95,900千円を交付金として充当要望がある。